

みかい

安住院便り
(第46号)

令和3年1月1日発行

〒703-8236
岡山市中区国富3丁目1-29
住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

法会の功德

新しい「令和」の時代になりましたが、突如の新型コロナウイルスの蔓延で、世界中が深い生活を送らなければならず、不安の多い毎日です。

ワクチン開発など病気の克服は、医療従事者にお願ひするしか有りませんが、心の不安を除き、安らぎを得るためには、やはり、宗教の力も必要です。



昨年、十一月十九日、当安住院本堂において、「仁王会」(仁王経読誦法会)というお勤めを行いました。国家安泰・万民豊樂・除災招福を、祈念致しました。



この法会は、「仁王護国般若波羅蜜多経」(仁王経)という経典を、多くの僧侶が一斉に読むことによつて、その功德を広める法会で、護摩供養も同時に行いました。



元々、天皇陛下がご即位なされた時に、国全体で行われていた一世一度の仏教行事で、国家安寧を祈念していました。今回、コロナ禍のなか、その趣旨に賛同して下さった一般檀信徒の寄進と、有縁の僧侶の方々の協力により、当院にて仁王経を読誦することが出来ました。

大変な時期が続きますが、法会を通して、宗教の必要性を考えて下されば幸いです。

今年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

合掌

安住院ホームページ <http://www.anjuin.com/>

初観音法会のご案内

来る一月十七日（日曜）

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

年頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、ご参詣下さい。また、特別祈祷も申し受けますので、三日前までにご連絡下さい。

五大力明王尊像

【安住院什物 紹介】

密教で重要な明王である、五大力尊像で、室町時代初期の作です。不動明王を中心に、降三世・軍荼利・大威徳・金剛夜叉の五明王で、「仁王会」の本尊の一つでもあります。



（長男は三歳になり、弟を大事に守ってくれる頼もしいお兄ちゃんになりました。）



「仁王護国般若波羅蜜多經」

この經典は、初観音で読む「大般若經」や、皆様よくご存じの「般若心經」と同じ部類で、仏様の智慧（般若）によって、悟りを得る（波羅蜜多）ためのものです。

特に、この「仁王經」は、（七難即滅・七福即生）を説く大事な經典で、中国でも日本でも古くから国王が国を治める為に、多くの僧侶が読誦し法会を修したものです。

今回の法会で、全巻読誦には、慣れた僧侶でも約二時間

必要でした。

弘法大師空海和尚も、時の天皇に、この經典は重要なもので、「国を護り、家を護り、皆を安らかにできる」功德があるのです。修法すべきと仰せられ、ご自身も何度も、この仁王經の法会を修したとされています。

お経は、その文字自体が仏様の言葉であり、大切なものですから、写経したり読経したりすることで、その功德が増すとされますが、その読誦の声を聞く、或いはその場に居合わせるだけでも息災になるのです。

お盆・送り火法会

昨年八月お盆の棚経を終えて、十五日に、当院本堂前の境内において、「送り火法会」の行事で、皆様のご先祖様の精霊送り供養を行いました。

毎年恒例の、岡山市内西川での「灯笼流し」が中止になり、その行事の代わりに始めたものです。



当日、午後五時頃より、皆様のご先祖の精霊を書いた卒塔婆を、住職・副住職が供養廻向してから、お炊き上げを行いました。

ご先祖様の菩提を弔い、平穏な日々が送れるよう、お盆の行事として続けていきますので、宜しくお願い致します。

